

令和7年度版

第二次尾張旭市 環境基本計画

R6
実績



年次報告書



市長賞

近藤有珠 さん



議長賞

石黒菜々子 さん



教育長賞

矢倉楓子 さん

尾張旭市 環境課



目次

I 第二次尾張旭市環境基本計画の概要

1 計画の概要	1
2 望ましい環境像	1
3 施策の体系	1
4 計画の進行管理体制・年次報告書	3

II 令和6年度の実績と指標の状況

1 「施策」の目標に向けた「指標」の状況	3
----------------------------	---

III 施策ごとの取り組み状況

1 施策ごとの取り組み状況の見方	6
2 施策ごとの取り組み状況	
① 地球温暖化対策の推進	7
② 資源循環の推進	13
③ 自然環境との共生	16
④ 生活環境の向上	20
分野横断的施策 環境教育・活動の充実	23

第二次尾張旭市環境基本計画については、本市ホームページ(下記 URL)に掲載していますので、そちらをご覧ください。

<https://www.city.owariasahi.lg.jp/pape/28864.html>



なお、尾張旭市環境基本計画における年次報告書は下記よりご覧いただけます。

<https://www.city.owariasahi.lg.jp/page/2359.html>



I 第二次尾張旭市環境基本計画の概要

1 計画の概要

(1) 計画の目的

本計画は、尾張旭市環境基本条例(平成16年条例第23号)に基づき、今ある環境を将来の世代に、より良くしながら継承し、誰もが健康で快適な市民生活を営むため、市、市民・市民団体、事業者が協力し、環境に配慮した総合的な取り組みを示すことを目的としています。

(2) 計画期間

長期的な視点に立って環境の保全や創出に取り組むため、令和6年度から令和15年度までの10年間を計画の期間としています。

(3) 中間見直し

策定期からの環境や社会経済情勢の変化、それまでの進捗状況や市総合計画を始めとした上位・関連計画の内容などを踏まえ、中間年である5年目(令和10年度)を目処に見直しを行います。

2 望ましい環境像

将来あるべき姿を考え、全員参加で環境の保全と創出に取り組むことのできるまちを目指し、望ましい環境像を次のように定めています。

はぐくみ つなぐ 環境・まち・未来

3 施策の体系

本計画では、望ましい環境像の実現に向けて、4つの分野からなる施策の柱とともに、分野を横断して取り組む施策を設定しています。また、それぞれの「施策」を実現するため、わたしたち(市、市民・市民団体、事業者)が取り組むべきことがらについて示しています。

望ましい環境像

「はぐくみ つなぐ 環境・まち・未来」

施策分野1
地球温暖化対策の推進

施策分野2
資源循環の推進

施策分野3
自然環境との共生

施策分野4
生活環境の向上

一分野横断的施策一

環境教育・活動の充実

－施策分野－	－施策－	－主な取組－
<p>1 地球温暖化対策の推進</p> <p>地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)</p> <p>気候変動適応計画</p>	<p>1-1 エネルギー効率の向上</p> <p>1-2 再生可能エネルギーの導入・利用促進</p> <p>1-3 地球温暖化への適応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭部門のエネルギー効率向上 ・産業・業務部門のエネルギー効率向上 ・運輸部門のエネルギー効率向上 <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの導入促進 ・再生可能エネルギーの利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・農業に関する適応策 ・水環境・水資源、自然生態系、自然災害に関する適応策 ・人の健康や生活に関する適応策
<p>2 資源循環の推進</p>	<p>2-1 ごみ減量・資源化の推進</p> <p>2-2 廃棄物の適正処理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別、減量化の推進 ・3Rの推進 ・ごみの資源化の推進 ・資源循環の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみのないまちづくりの推進
<p>3 自然環境との共生</p>	<p>3-1 自然環境の保全・活用</p> <p>3-2 生物多様性の保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地の保全 ・緑地の整備 ・農地の保全 ・水辺の保全 ・健全な水循環の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息・生育環境の保全 ・生態系の保全 ・自然とのふれあいの促進
<p>4 生活環境の向上</p>	<p>4-1 生活環境の保全</p> <p>4-2 環境に配慮した都市空間づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の整備 ・良好な生活環境の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・住環境の美化・向上 ・グリーンインフラの推進
<p>－分野横断的施策－</p> <p>環境教育・活動の充実</p> <p>環境教育等推進行動計画</p>	<p>1 環境意識の向上と行動する人材の育成</p> <p>2 環境保全活動の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する情報発信 ・ライフステージ別環境教育・学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮行動の促進 ・環境保全活動のネットワーク構築



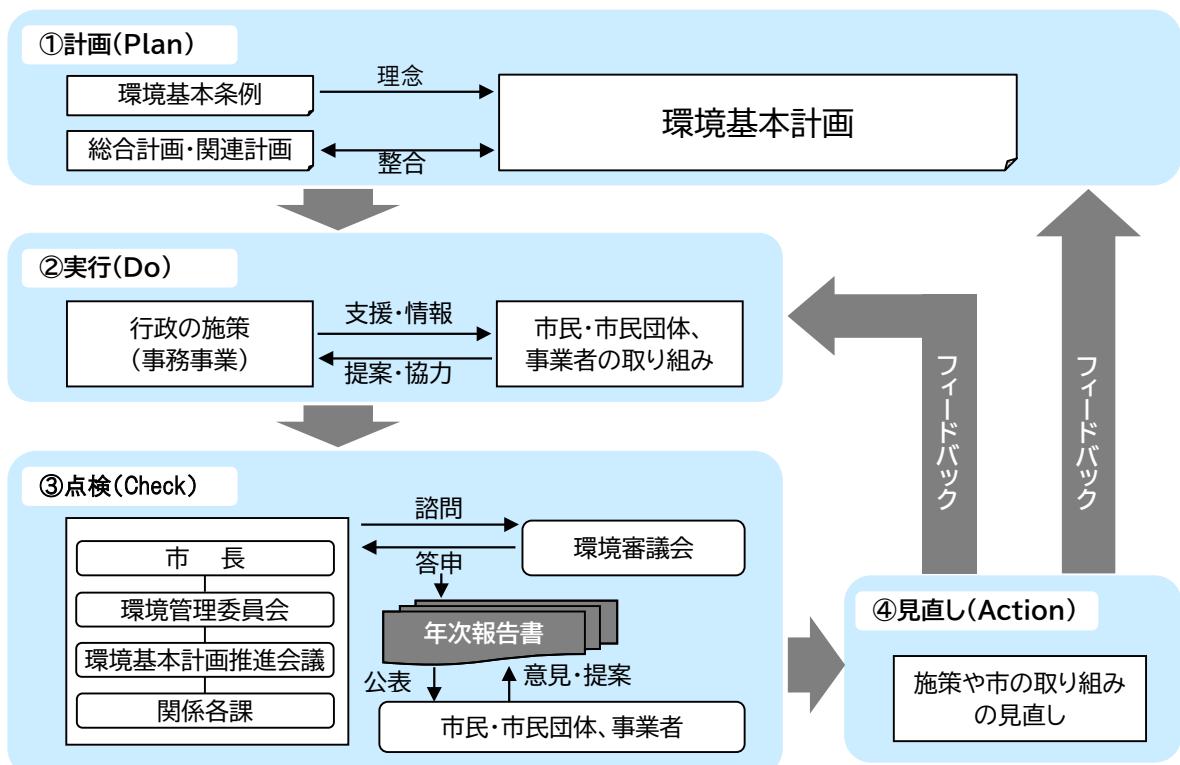
施策 ってなに？

「施策」とは、目標を達成するために実施される戦略や対策のことです。尾張旭市がめざす「はぐくみ つなぐ 環境・まち・未来」を実現するため、わたしたち(市、市民・市民団体、事業者)が取り組むべきことがらを示しています。

4 計画の進行管理体制・年次報告書

全ての主体が連携・協働のもと計画を着実に推進するため、次の推進体制によって進行管理を行っています。

また、市民や事業者の皆さんからいただいた御意見を、その後の施策や進行管理に生かしていくため、計画に基づく取り組み状況を毎年点検・公表し、「年次報告書」としてまとめています。



II 令和6年度の実績と指標の状況

1 「施策」の目標に向けた「指標」の状況

わたしたち(市、市民・市民団体、事業者)が、さまざまな取組を実施することによって、施策は目標へ向かっていきます。第二次尾張旭市環境基本計画では、わたしたちの取組によって目標年次に達成すべき成果を表す「成果指標」と、わたしたちの取組状況を見る「取組指標」を設定し、「成果指標」は中間見直し時に、「取組指標」は毎年度、進捗状況を把握します。



指標 ってなに？

「指標」とは、物事を判断したり、評価したりするときの目じるしとなるものです。これをもとに、施策がしっかりと目標に向かって進んでいるかを確認し、わたしたち(市、市民・市民団体、事業者)のよりよい取組へとつなげていきます。

【進捗状況の見方】		※ 「前回値」は、令和4年度に取得した値を掲載。それ以外の年度に取得した値は、取得年度を()で示しています。また、「現状値」は令和6年度の実績値、「目標値」は令和15年度の長期目標値です。
	目標を達成、または目標達成に向けて順調に進んでいます。	
	前回値から横ばい、または改善傾向ですが、さらなる努力が必要です。	
	改善傾向にありません。	

① 成果指標

中間見直し時に、進捗状況を把握します。

② 取組指標

施策1-1 エネルギー効率の向上

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
市内の温室効果ガス排出量	378,000t-CO ₂ (令和2年度)	364,000t-CO ₂ (令和4年度)	206,000t-CO ₂	
市内を運行する鉄道、バスの利用者数	12,290千人	12,968千人	13,619千人	
行政活動による温室効果ガス排出量	7,423t-CO ₂	8,087t-CO ₂	3,493t-CO ₂	

施策1-2 再生可能エネルギーの導入・利用促進

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
再生可能エネルギー設備を導入した公共施設数	16施設	16施設	21施設	
再生可能エネルギー設備導入に対する補助事業等により導入した設備等の数	1,300台	1,602台	2,000台	

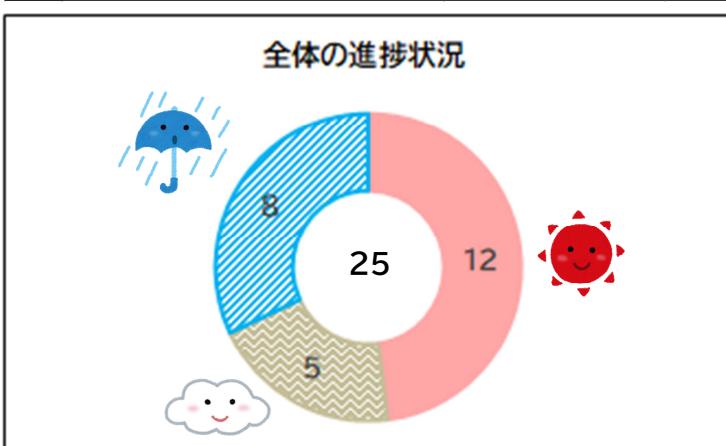
施策1-3 地球温暖化への適応

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
農地面積	105.9ha	103.1ha	100ha	
防災アプリの累計登録者数	3,400人	5,569人	10,000人	
熱中症搬送患者数	32人	41人	32人	
クーリング施設(指定暑熱避難施設)の設置箇所数	31箇所 (令和5年度)	26箇所	40箇所	

施策2-1 ごみ減量・資源化の推進

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
ごみ残置シール貼付数	4,672件	3,980件	3,970件	
燃えるごみ中の資源ごみ混入率	25.4%	25.6%	18.2%	
処分ごみの排出量	20,270t	19,047t	16,701t	

施策2-2 廃棄物の適正処理				
指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
市民一人一日当たりの家庭系処分ごみ排出量	520g/人日	487g/人日	420g/人日	
施策3-1 自然環境の保全・活用				
指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
農地面積	105.9ha	103.1ha	100ha	
全国植樹祭開催理念を継承する事業数	21事業	21事業	25事業	
施策3-2 生物多様性の保全				
指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
公園等の面積	443.4ha	446.6ha	445ha	
自然観察会の実施回数	6回	6回	6回	
施策4-1 生活環境の保全				
指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
下水道普及率	86.8%	89.5%	98.3%	
下水道水洗化率	90.0%	91.8%	98.3%	
生活排水処理率	95.3%	97.6%	98.7%	
施策4-2 環境に配慮した都市空間づくり				
指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
生活衛生環境に関する相談件数	244件	258件	220件	
ペットの適正飼育に関する個別啓発件数	20件	5件	15件	
施策① 環境意識の向上と行動する人材の育成				
指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
環境学習講座の開催数	67回	63回	80回	
施策② 環境保全活動の拡大				
指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
環境保全活動等に参加している市民団体数	167団体	166団体	170団体	



III 施策ごとの取り組み状況

1 施策ごとの取り組み状況の見方

7ページ以降の施策ごとの取り組み状況については、次のような形で記載しています。

1 地球温暖化対策の推進

【地球温暖化対策実行計画(区域施策編)・気候変動適応計画】



分野の名称

関連する SDGs のアイコン

めざす姿

脱炭素化を推進し、市、市民・市民団体、事業者が、環境に配慮しています。

施策の名称

取組指標とその進捗状況

1-1 エネルギー効率の向上

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
市内の温室効果ガス排出量	378,000t-CO ₂ (令和2年度)	364,000t-CO ₂ (令和4年度)	206,000t-CO ₂	
市内を運行する鉄道、バスの利用者数	12,290千人	12,968千人	13,619千人	
行政活動による温室効果ガス排出量	7,423t-CO ₂	8,087t-CO ₂	3,493t-CO ₂	



目標値

取組指標とその進捗状況
(グラフ)

取組指標ごとの評価・分析

評価・分析

温室効果ガス排出量は、減少傾向にあります。しかし、国が策定した地球温暖化対策計画では、家庭部門のエネルギー削減率を 66%（基準年：平成 25 年、目標年：令和 12 年）とするなど、とても高い目標を掲げており、地球温暖化の影響で猛暑日や熱帯夜の日数が増加傾向にある中でも、省エネ・省資源の取組を推進するなど、環境への配慮を継続的に行っていく必要があります。

また、尾張旭市の CO₂ 排出量の構成比は、全国や愛知県の平均と比べると、家庭部門と運輸部門の割合が多い傾向にあります。

みんなの取組<抜粋>



公共施設・家庭にゴーヤの苗を配布しました。
公共施設には、63 施設に 485 株。市民に対しては、引換券 2,310 枚を配布しました。

保育園などの各公共施設や家庭で、それぞれ
緑のカーテンに取り組みました。

みんなの取組

2 施策ごとの取り組み状況

1 地球温暖化対策の推進

【地球温暖化対策実行計画(区域施策編)・気候変動適応計画】

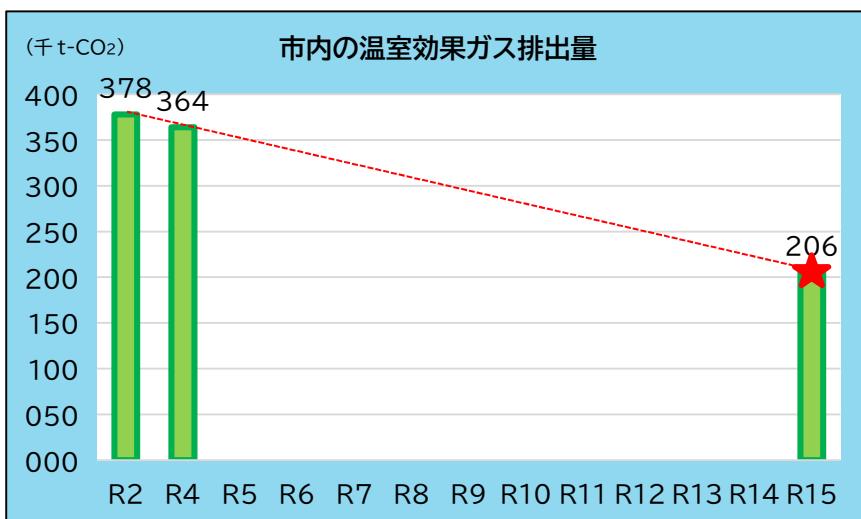


めざす姿

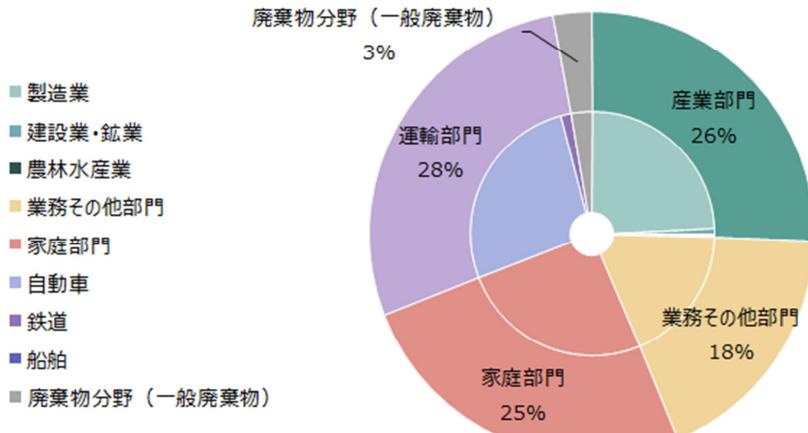
脱炭素化を推進し、市、市民・市民団体、事業者が、環境に配慮しています。

1-1 エネルギー効率の向上

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
市内の温室効果ガス排出量	378,000t-CO ₂ (令和2年度)	364,000t-CO ₂ (令和4年度)	206,000t-CO ₂	



1)部門・分野別 CO₂排出量構成比 令和 4 年度(最新)



※区域のCO₂排出量は、環境省「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル」の標準的手法に基づき、統計資料の按分により地方公共団体別部門・分野別CO₂排出量を推計した値です。なお、一般廃棄物のCO₂排出量は、一般廃棄物処理実態調査結果の焼却施設ごとの年間処理量等から推計しています。

部門別の指標

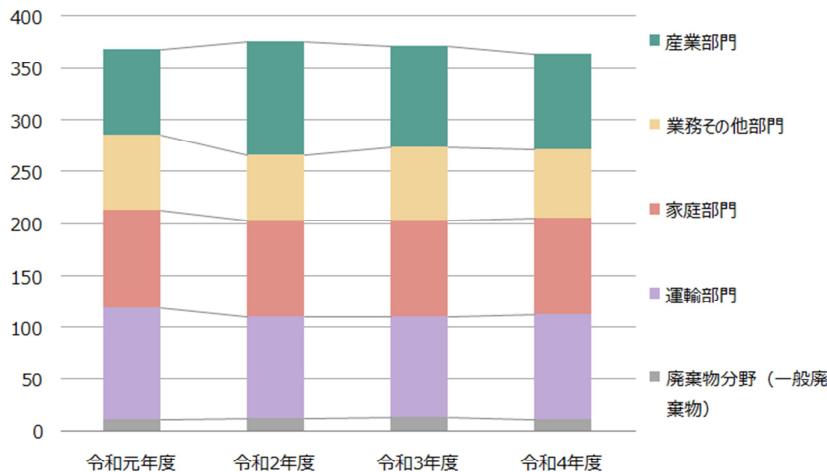
産業部門: 製造業(製作品の出荷額等)、建設業・工業(従業員数)、農林水産業(従業者数)

業務その他部門: 従業者数

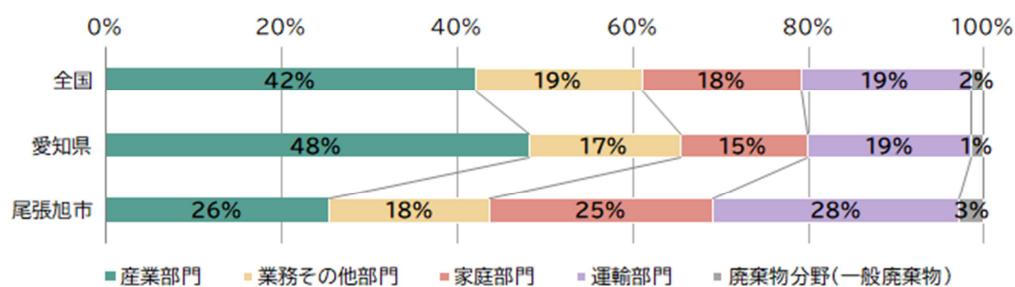
家庭部門: 世帯数

運輸部門: 自動車(保有台数)、鉄道(人口)、船舶(入港船舶総トン数)

2)部門・分野別 CO₂ 排出量の推移



3)部門・分野別 CO₂ 排出量構成比の比較(都道府県平均及び全国平均) 令和 4 年度(最新)

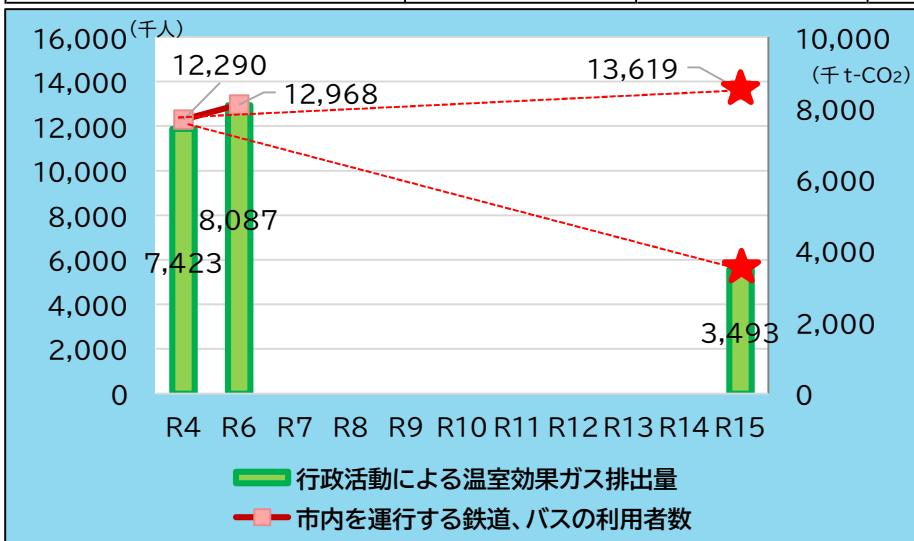


評価・分析

市内の温室効果ガス排出量は、減少傾向にあります。しかし、国が策定した地球温暖化対策計画では、家庭部門のエネルギー削減率を 66%(基準年:平成 25 年、目標年:令和 12 年)とするなど、とても高い目標を掲げており、地球温暖化の影響で猛暑日や熱帯夜の日数が増加傾向にある中でも、省エネ・省資源の取組を推進するなど、環境への配慮を継続的に行っていく必要があります。

また、尾張旭市の CO₂ 排出量の構成比は、全国や愛知県の平均と比べると、家庭部門と運輸部門の割合が多い傾向にあります。このことからも、家庭部門のCO₂排出量を削減する施策・取組の推進が重要であることがわかります。

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
市内を運行する鉄道、バスの利用者数	12,290千人	12,968千人	13,619千人	
行政活動による温室効果ガス排出量	7,423t-CO ₂	8,087t-CO ₂	3,493t-CO ₂	



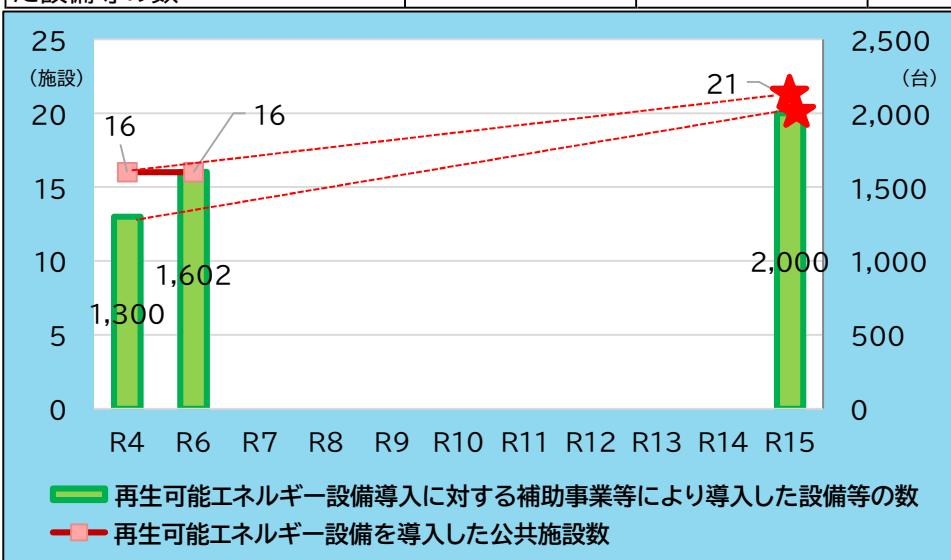
評価・分析

市内を運行する鉄道、バスの利用者数は増加しています。市営バスにバスロケーションシステムを導入、県のデマンド交通実証実験に参画するなど、利便性の向上を図ったことにより、利用の促進につながりました。

行政活動による温室効果ガス排出量は、令和4年度に比べて増加しました。これは、電力事業者の契約変更に伴い、排出量算定に用いる基礎排出係数が変動したことによるものであり、実際のエネルギー使用量は減少しています。

1-2 再生可能エネルギーの導入・利用促進

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
再生可能エネルギー設備を導入した公共施設数	16施設	16施設	21施設	
再生可能エネルギー設備導入に対する補助事業等により導入した設備等の数	1,300台	1,602台	2,000台	



評価・分析

再生可能エネルギー設備を導入した公共施設は、前回値からの増減はありませんでした。今後も引き続き、現状値からの増加に向けて取組を推進していく必要があります。

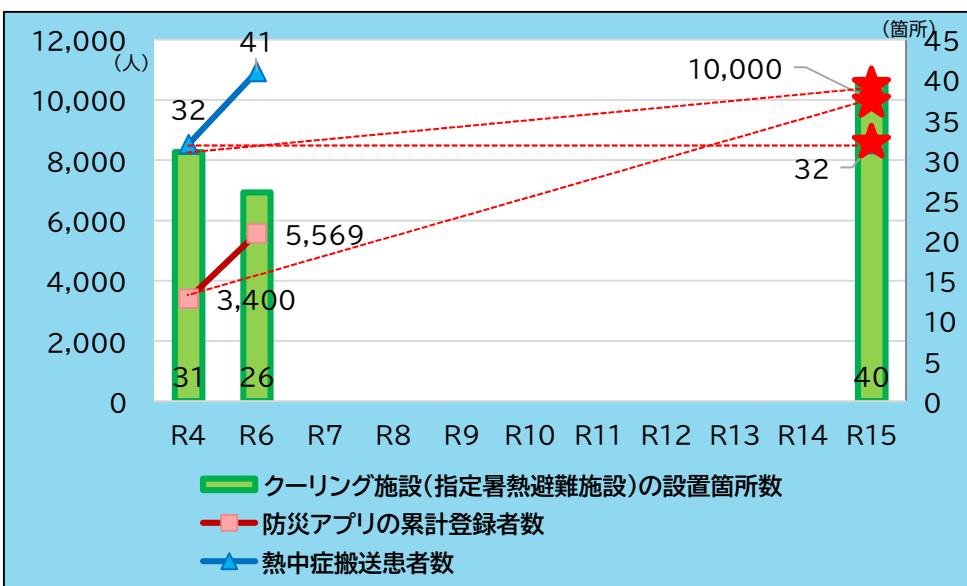
再生可能エネルギー設備導入に対する補助事業等により導入した設備等の数は、増加しました。「地球温暖化対策設備設置費補助金」を活用し、積極的に設備を導入する家庭が増えています。

1-3 地球温暖化への適応

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
農地面積	105.9ha	103.1ha	100ha	



指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
防災アプリの累計登録者数	3,400人	5,569人	10,000人	
熱中症搬送患者数	32人	41人	32人	
クーリング施設(指定暑熱避難施設)の設置箇所数	31箇所 (令和5年度)	26箇所	40箇所	



評価・分析

農地面積は、減少しないことが望ましいですが、近年の傾向から、いかに減少幅を小さくするかということが課題となっています。しかしながら、農地は民地であり、行政でコントロールできない部分もあるため、その推移を注視していきます。

防災アプリの累計登録者数は、増加しています。地球温暖化の影響による気候変動にともない、今後も大規模な災害等が懸念されるため、引き続き周知啓発・有用な情報発信に努める必要があります。

熱中症搬送患者数は、前回値と比べて増加しました。ただし、数値は年によってばらつきがあり、市でコントロールすることができない部分が大きいため、目標値はあくまで目安としています。大幅な搬送件数の増加を抑制するため、予防救急に関する取組で熱中症予防について引き続き啓発を行っていく必要があります。

クーリング施設(指定暑熱避難施設)の設置箇所数は、前回値より減少しました。近年の長引く暑さや酷暑による熱中症などの被害を減らすためにも、施設を増やす取組を推進する必要があります。令和7年9月現在では、クーリングシェルターとクールシェアスポットをあわせて30の施設を開放しています。今後も公共施設だけでなく、民間の施設とも協力して、積極的に取り組んでいくことが必要です。

みんなの取組<抜粋>



▲ 本地ヶ原保育園

公共施設・家庭にゴーヤの苗を配布しました。公共施設には63施設に苗485株を、市民には引換券2,310枚を配布しました。引換券1枚につき苗2株と引き換えられるため、市民には合計で4,620株の苗を配布しました。

保育園や児童館、小中学校のほか、公民館などの各公共施設で、それぞれ緑のカーテンに取り組みました。

また、市民においては、各家庭で緑のカーテンに取り組みました。

市営バス(あさぴー号)の印場駅～愛知医科大学間の試験運行及び年末試験運行を実施しました。





▲ 中央公民館

旭色プロジェクトとして、紅茶や市の特産品であるいちじくを使った商品開発を行い、市内飲食店とともに特産品等の普及促進を行いました。

また、市の特産品である「朝採り完熟いちじく」を、講座や学校給食などで活用するとともに、特産品 PR のため、市役所のロビーで販売しました。

中央公民館及び地区公民館 4 館で、照明の LED 取替修繕を行いました。



熱中症対策アンバサダー®講座

熱中症の発生を防ぐためには、個々で付けていくことはもちろんですが、正しい知識をもって熱中症対策をおこなうことができるよう、多くの方に呼びかけていくことも必要です。当講座では、熱中症対策の啓発・普及活動をおこなう際に必要な専門的な知識を学んでいただくことができます。当講座を受講し、確認テストに合格され、アンバサダー会員として「登録」された方には、「熱中症対策アンバサダー」として当社が証明する「修了証」を交付します。

■ アンバサダーの活動イメージ

■ アンバサダーの活動フィールドの一例

■ 「熱中症対策アンバサダー講座」実施概要

■ 受講資格
どなたでも受講いただけます。

■ 受講料
無料【修了後の更新は不要(無期限)】

■ 提供されるツール

「熱中症対策アンバサダー」は大塚製薬株式会社の登録商標です。

熱中症対策アンバサダー講座を開設し、希望する職員に受講を促すことで、熱中症への理解を深めてもらい、熱中症予防・対処方法等の周知を図りました。

このほかにも、熱中症警戒アラートが発令された日に安心安全メールの配信を行ったり、公共施設等で熱中症ランクボードやポスターを掲示するなど、注意喚起を行いました。

また、広報おわりあさひ、インスタグラム及びポトスにおいて啓発と注意喚起を実施し、市民からの要望による出前講座で、熱中症の予防方法と対処方法の講義を行いました。

なお、令和 7 年度は、職員だけでなく、市民団体等に所属しているかたの受講も可能とし、より広く情報を発信できるよう取組を進めています。

2 資源循環の推進

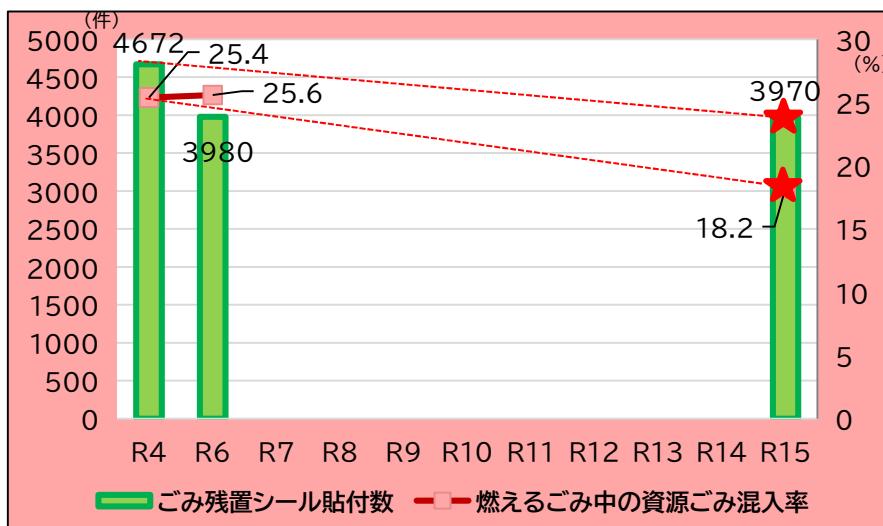


めざす姿

環境負荷の少ない循環型社会づくりに向け、ごみの減量・資源化が推進されています。

2-1 ごみの減量・資源化の推進

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
ごみ残置シール貼付数	4,672件	3,980件	3,970件	
燃えるごみ中の資源ごみ混入率	25.4%	25.6%	18.2%	

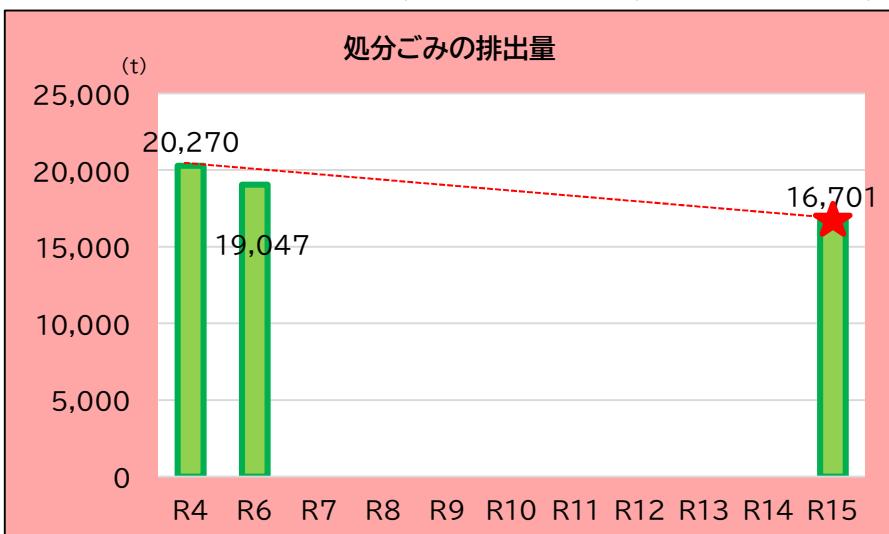


評価・分析

ごみ残置シール貼付数は、前回値から大幅に減少しました。ごみ残置シールの貼り付けや、広報と同時配布の「ごみの出し方」などによる市民への周知実施により、市民のごみの分別意識の高揚が図られ、ごみの適正処理が進んだためと考えています。

燃えるごみ中の資源ごみの混入率は、わずかに増加しました。一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、広報等の周知啓発強化、資源化促進に取り組みましたが、分別の推進は十分と言えず、資源ごみ収集方法の検討を進める必要があります。

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
処分ごみの排出量	20,270t	19,047t	16,701t	



評価・分析

処分ごみの排出量は、減少しました。生ごみ減量講習会やエコクッキングの実施、広報おわりあさひにごみ減量に関する記事を年間を通して複数回掲載するなどし、市民や事業者に向けてごみの分別と減量意識の醸成に取り組みました。結果、市民や事業者の意識が向上し、前回値と比較して減少しました。

2-2 廃棄物の適正処理

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
市民一人一日当たりの家庭系処分ごみ排出量	520g/人日	487g/人日	420g/人日	



評価・分析

市民一人一日当たりの家庭系処分ごみ排出量は、減少しました。処分ごみの排出量同様、市が主催する講習会等の実施や広報おわりあさひへの掲載など、市民のごみの分別及び減量に対する意識が向上し、排出量が減少しました。

みんなの取組<抜粋>

10月は食品ロス削減月間 STOP食品ロス! みんなで育てよう実践力!

令和環境課 ☎76-8135 ID 32948

食品ロスの削減は、SDGsのターゲットの1つになっています。市では、令和6年2月に「食品ロス削減推進計画」を策定し、食品ロス量の目標値を定めています。

●家庭でできる食品ロス削減の取り組み

- 3キリ 食材は「使い切り」、調理したものは「食べきり」、生ごみはしっかり水切りしましょう。
- ごみ減量 食品を購入する際は、商品棚の手前にある販売期限の迫った商品を積極的に選びましょう。
- 生ごみ処理機 市では、日本国内の販売店で購入した生ごみ処理機などの機器・容器の購入費の一部を補助しています。詳細は、ホームページID 32988で(予算に限りあり。事前にお問い合わせを)

生ごみ処理機 補助額 購入価格の 1/2 (8千円を上限)

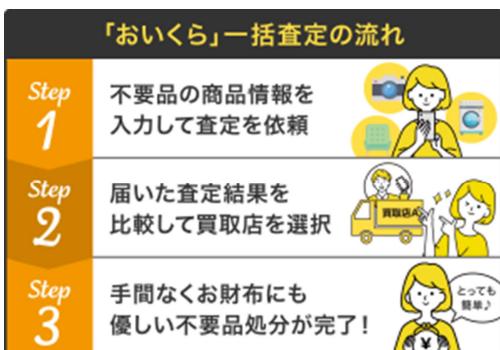
生ごみ堆肥化容器(コンポスト) 補助額 購入価格の 1/2 (3千円を上限)

生ごみ発酵用密閉容器 補助額 購入価格の 1/2 (千円を上限)

広報おわりあさひ令和6年10月号「今月のトピックス」に、食品ロス削減に関する啓発記事を掲載しました。

このほか、市ホームページに食品ロスを削減する取組紹介記事を掲載したり、フードドライブ事業として、リサイクルひろばにおいて、食品の受付を実施しました。フードドライブ事業では、延べ48人から、278個の寄附が集まりました。

おいくら?



コンポストの利用を希望されるかたに、無償で貸出を行いました。

市民活動団体によるコンポスト普及事業においては、市民活動団体が、市民から生ごみの提供を受け、3,021kgの生ごみ堆肥化を実施しました。

不法投棄の連絡があった際は、当該ごみの収集を行い、必要に応じて排出者の特定・直接指導や警告看板等の設置を行いました。

警 告

この場所にごみを捨てると、不法投棄とみなされ
罰金1,000万円以下または拘禁5年以下の
刑罰が適用されることがあります。
不法投棄を目撃されたかたは、車両ナンバー等の
通報にご協力ください。

守山警察署
尾張旭市

3 自然環境との共生

6 安全な水とトイレを世界中に



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう

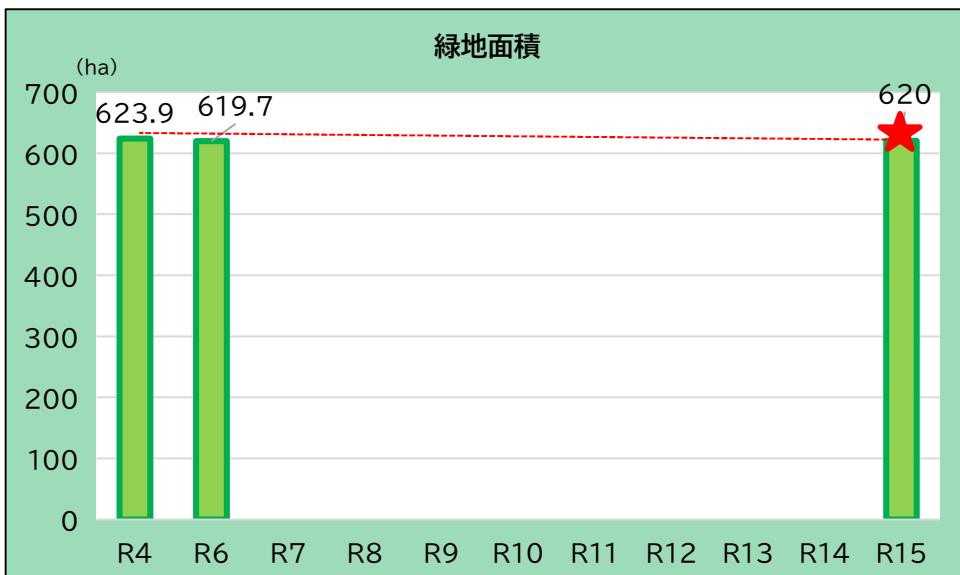


めざす姿

多様な動植物が生息・生育できる環境が保全され、生物多様性が保たれています。

3-1 自然環境の保全・活用

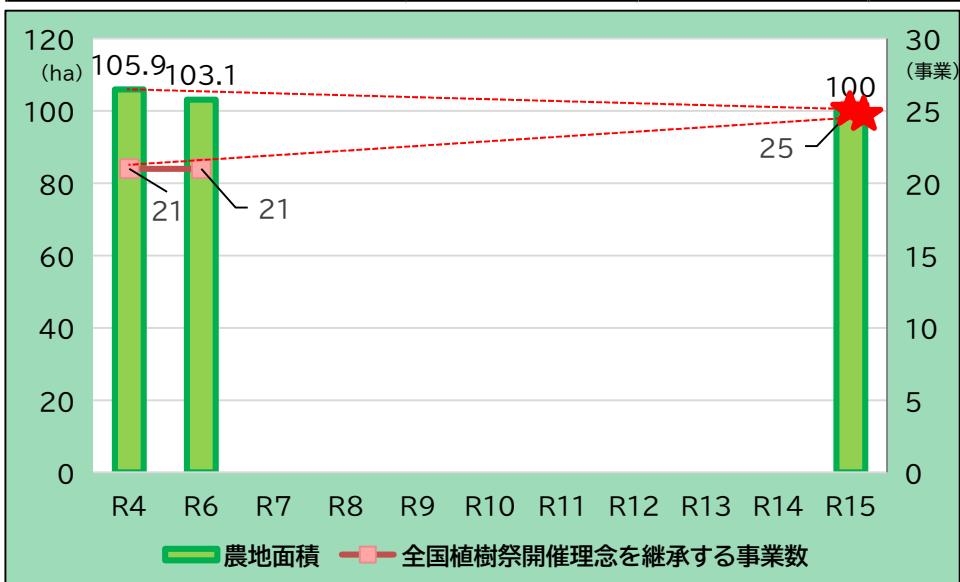
指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
緑地面積	623.9ha	619.7ha	620.0ha	



評価・分析

緑地面積は、公園・緑地・農地などを合計した数値を取得しています。北原山土地区画整理地内の公園、緑地が新設されることを想定する一方で、近年、農地が4年で約5ha減少していることから、全体としては維持をめざしているものです。農振農用地区域の除外申出に対して厳格な審査を行い、生産緑地の買取申出に対しては、愛知県や各課に買取希望照会や農業委員会へのあっせんを行いましたが、農地や生産緑地が転用され、緑地面積は減少しました。

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
農地面積	105.9ha	103.1ha	100ha	
全国植樹祭開催理念を継承する事業数	21事業	21事業	25事業	



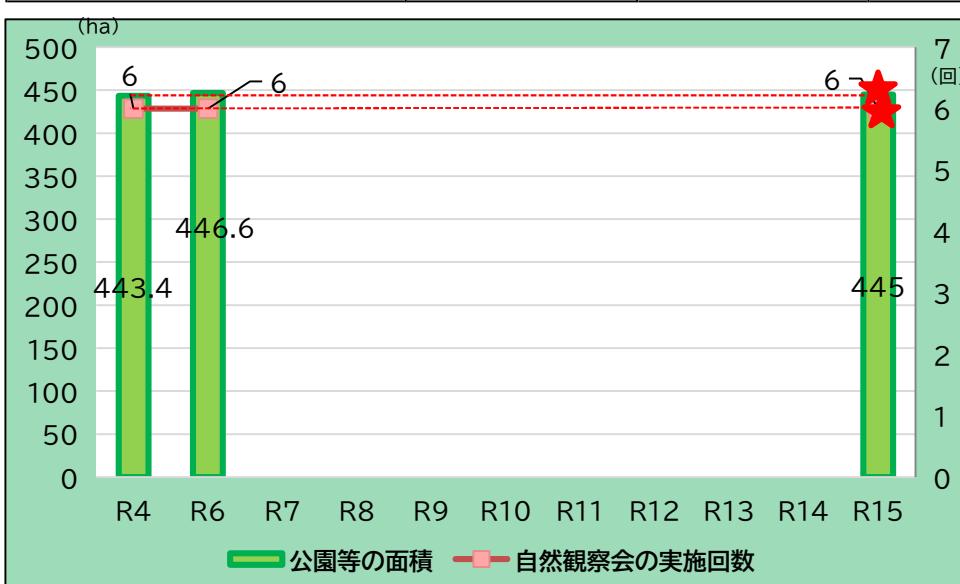
評価・分析

農地面積は、減少しました。(再掲)

全国植樹祭開催理念を継承する事業数は、前回値から変わりありません。全国植樹祭 5 周年イベント、樹木伐採加工業務などの理念継承事業を実施し、理念の継承に努めました。引き続き事業を実施し、可能な限り事業数を増やしていくことが必要です。

3-2 生物多様性の保全

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
公園等の面積	443.4ha	446.6ha	445ha	
自然観察会の実施回数	6回	6回	6回	



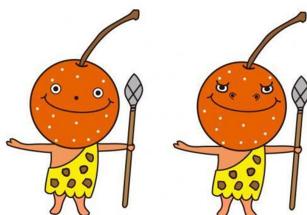
評価・分析

公園等の面積は、数値としては増加していますが、これは森林公园において調整等があったためであり、実際の面積に増減はありません。しかしながら、旭台第1号公園のリニューアル工事の実施や、劣化のため補修が必要な木製ベンチを耐久性のあるベンチに更新するなど、既存の公園等について安全で快適に利用できる空間づくりに寄与しました。

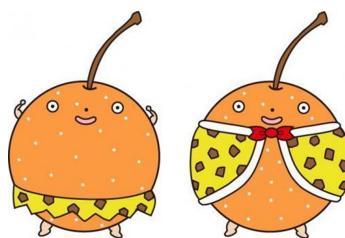
みんなの取組<抜粋>



市指定文化財「長池のマメナシ・アイナシ自生地」で、春と秋に一般公開を実施し、専門家が解説、市民参加の清掃活動を行いました。



◀ マメナッシー



◀ アイナッシー

全国植樹祭5周年記念イベント、樹木伐採加工業務、森林公园清掃活動「グリーンリレー」、花咲くまちづくり助成金、農業まつりでの苗木配布を実施しました。



◀ いちじくゼリーあえ

食育実行プランに基づき、学校給食等で地産地消の取組を行っています。

いちじくのほか、キャベツ、玉ねぎ、プチヴェール等を使用した給食を提供することで、地産地消を推進しました。



◀ ハンバーグのいちじく
ソースかけ

水道週間及び水の週間の際に、懸垂幕等の設置やあいの水の配布を実施し、水の有効利用に関する啓発を行いました。

また、下水接続により不要となった浄化槽の雨水貯留槽への転用については、2件の転用にかかる費用の助成を行いました。



▲ こだまの森の見学(水の週間)



▲ 吉賀池湿地の一般公開

尾張旭市北部に位置する吉賀池湿地において、年に6回一般公開を行いました。

普段は立ち入ることができませんが、公開日には、シラタマホシクサやミカワシオガマなどの貴重な植物を自由に観察することができます。

4 生活環境の向上

6 安全な水とトイレを世界中に



11 住み続けられるまちづくりを



14 海の豊かさを守ろう

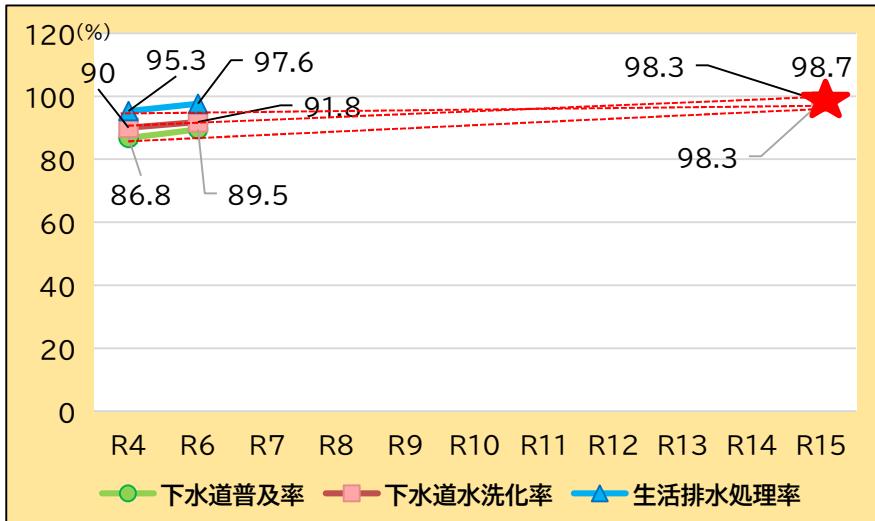


めざす姿

水資源の保全をはじめとする良好な生活環境の確保とともに、緑豊かな美しいまちなみが維持・形成されるなど、安心して快適に暮らせる都市空間が創出されています。

4-1 生活環境の保全

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
下水道普及率	86.8%	89.5%	98.3%	
下水道水洗化率	90.0%	91.8%	98.3%	
生活排水処理率	95.3%	97.6%	98.7%	

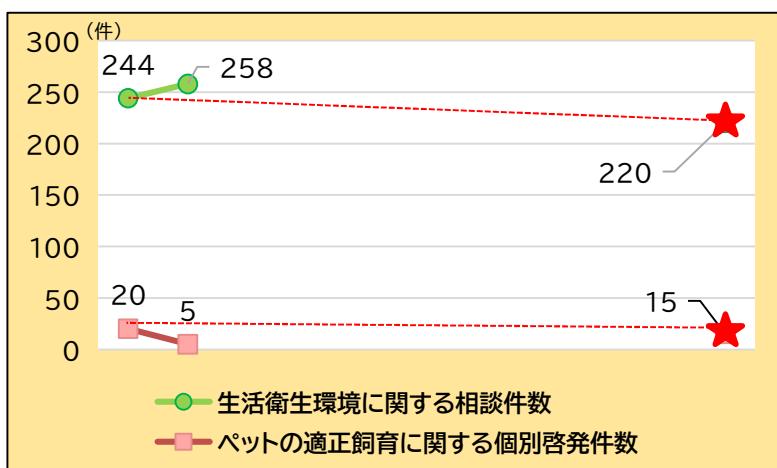


評価・分析

下水道普及率、下水道水洗化率、生活排水処理率ともすべて増加しました。下水道普及率は、計画的な下水道面整備を実施したことにより、供用開始区域を広げたことにより増加しました。下水道水洗化率は、供用開始後3年以上経過した未接続宅を対象に、個別訪問を実施し、切り替えの推進を図ったことにより増加しました。これに伴い、生活排水処理率も増加しています。

4-2 環境に配慮した都市空間づくり

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
生活衛生環境に関する相談件数	244件	258件	220件	
ペットの適正飼育に関する個別啓発件数	20件	5件	15件	



評価・分析

生活衛生環境に関する相談件数は、増加しました。対応件数は前回値と比較して増加しているものの、苦情への対応方針が確定され、迅速な対応が行えています。

ペットの適正飼育に関する個別啓発件数は、大きく減少しました。犬のふん便防止看板を配布したほか、飼い主に対して予防的な声かけを行ったことで、ふん便や鳴き声に関する苦情が減ったものと考えています。

みんなの取組<抜粋>

8月3日に、浄化センターにて下水道講座や施設見学等の普及促進啓発イベントを開催しました。また、広報おわりあさひに普及啓発記事を掲載し、商業施設にて啓発物の展示を行いました。

Repo 02

PHOTO REPORT

水質実験や珍しい微生物に歓喜!
下水道ってなに? 見て聞いて学ぶ下水道のしくみ

西部浄化センターで行われ、水中に酸素が溶け込むと一瞬で色が変わる実験や、顕微鏡で見るさまざまな形の微生物に、子どもたちは「面白い!」と興味津々でした。

8/3 [土]

尾張旭市 × 愛知県宅地建物取引協会
人と住まいを、実現でつなぐ。

空き家登録 どうやって登録するの?

空き家売却 ●坪単価いくらくらい?
●手元にいくら残るの?

空き家解体 いくらかかるの?

空き家管理 ●除草作業・換気など
●空き家管理パックのご紹介

空き家総合相談窓口 052-522-2567

尾張旭市と(公社)愛知県宅地建物取引協会は空き家対策に関する協定を締結し、空き家の未然防止に取り組むため、各種相談に対応する「空き家総合相談窓口」(尾張旭市空き家バンク)を開設しています。空き家に関するご相談・ご質問等、何でもお気軽にお連絡ください。

空き家に関するご用命はお近くの「空き家マイスター」にお声掛けください。
(公社)愛知県宅地建物取引協会
担当の空き家の専門家

AM 空き家マイスター

市ホームページにインターネット上の博物館であるデジタルミュージアムを構築し、普段見ることのできない市の文化財等も、簡単に気軽に見ることができる環境を整えました。また、中学校の副読本にデジタルミュージアムのQRコードを掲載しました。

尾張旭市デジタルミュージアム
Owariasahi City Digital Museum

デジタルコレクション イベント お知らせ 歴史民俗フロア

分野横断的施策

環境教育・活動の充実 【環境教育等推進行動計画】

4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

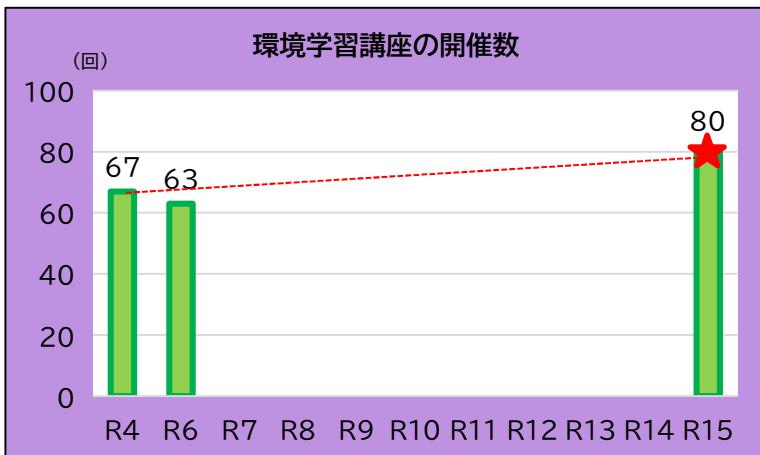


めざす姿

子どもから高齢者まで、環境問題について考え方行動する人材が育つとともに、
地域の環境保全を支える活動が広がっています。

1 環境意識の向上と行動する人材の育成

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
環境学習講座の開催数	67回	63回	80回	

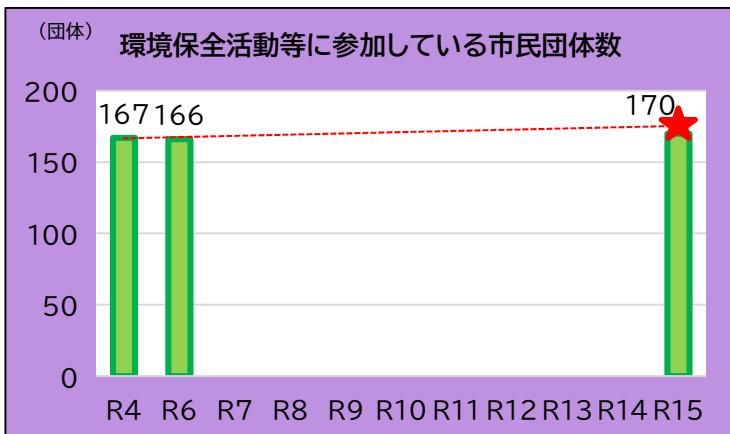


評価・分析

環境学習講座の開催数は、減少しました。しかしながら、名古屋産業大学等で学生向けの「生ごみ講習会」を年4回開催するなど、若年層に向けた環境に関する学習の機会を提供しました。今後も引き続き、環境学習講座についてホームページ等で周知するとともに、公共施設等に案内チラシを設置するなど、積極的な情報発信に努めます。また、市が独自に実施する講座以外にも、森林公园や名古屋産業大学、県などの外部とも連携・協力して講座の充実を図っていくことが必要です。

2 環境保全活動の拡大

指標	前回値	現状値	目標値	進捗状況
環境保全活動等に参加している市民団体数	167団体	166団体	170団体	



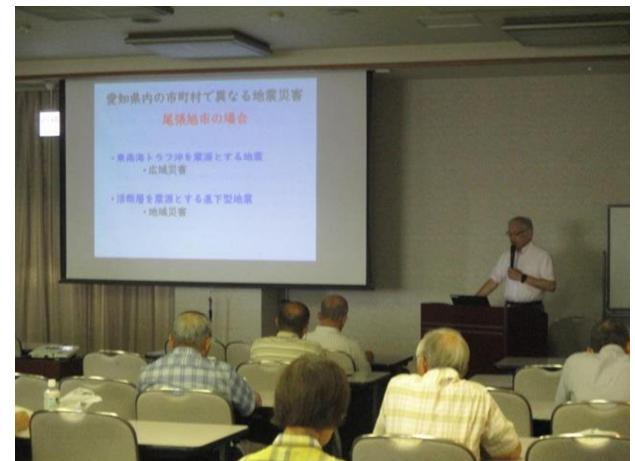
評価・分析

環境保全活動等に参加している市民団体数は、減少しました。市は、今後も自主的な活動を行う団体への支援などにより、環境保全活動の促進に努める必要があります。

みんなの取組<抜粋>

あさひエコ大学を4回開催し、延べ98人が参加しました。

また、名古屋産業大学と共に第22回環境フォーラムを開催しました。



折りたたみ式ごみボックス購入費補助金の交付やカラス除けネットの配布を通じて、ごみの飛散防止及び鳥獣によるごみの散乱防止対策を推進し、地域住民の衛生的で快適な生活環境の保全を図っています。

▲ 折りたたみ式ごみボックス(例)

皆さんの御意見・御感想をお寄せください！アイデア募集！

尾張旭市では、市民・市民団体、事業者の皆さんからの声を環境行政に反映させていただくため、この第二次尾張旭市環境基本計画年次報告書の内容について、意見・感想を募集しています。

それぞれの取組が、より良い方向に進めるようなアイデア、感想、チヨット言いたいのだけれど…といったこと、また、年次報告書の内容全般について等、何でも構いません。

1 意見等の締切日

令和8年2月6日(金)

2 意見等の提出先及び提出方法

(1) 提出先

尾張旭市役所 環境課

(2) 提出方法

ア 郵送の場合

〒488-8666 尾張旭市東大道町原田2600番地1

(住所は書かなくても届きます。)

イ オンラインフォームの場合

右記二次元コードから

ウ 電子メールの場合

kankyou@city.owariasahi.lg.jp

オンラインフォーム

二次元コード



- ※ 様式は自由です。なお、最終頁に参考様式を掲載していますので、御利用ください。また、意見等を提出の際には必ず住所・氏名・年齢を御記入ください。
- ※ 口頭・電話での意見は受け付けませんので御了承ください。また、意見等に対する個別の回答は行いません。
- ※ お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています(住所、氏名等は公表しません。)。
- ※ 御記入いただいた個人情報については、意見等の取りまとめ以外の目的には使用しません。

3 問い合わせ先

尾張旭市役所 環境課環境施策係 TEL:0561-76-8134(直通)

「令和7年度版第二次環境基本計画年次報告書」に関する意見等記入シート

氏名		年齢	
住所			
キリトリ			

※ お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています(住所、氏名等は公表しません。)。

※ 御記入いただいた個人情報については、意見等の取りまとめ以外の目的には使用しません。

提出先…尾張旭市役所 環境課

▽郵送の場合:〒488-8666

尾張旭市東大道町原田2600番地1(住所は書かなくても届きます。)

▽オンラインフォームの場合:右記二次元コードから



▽電子メールの場合:kankyou@city.owariasahi.lg.jp